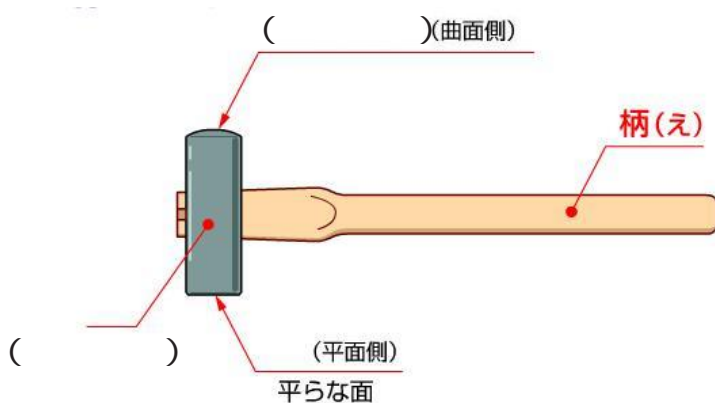


《くぎ接合について》 2-1

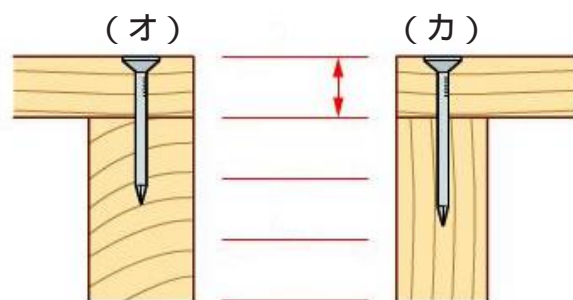
年	組	番	氏名
---	---	---	----

1. くぎの名称と、げんのうの各部の名称を下図の () 内に書きましょう。



2. 「こば打ち」と「こぐち打ち」に関するものを、(ア)～(カ)の文と図から選び、分類しましょう。

- (ア) 繊維方向に平行
- (イ) 繊維方向に直角
- (ウ) くぎの長さは板の厚さの2.5倍以上
- (エ) くぎの長さは板の厚さの2～2.5倍



「こば打ち」に関するもの ()

「こぐち打ち」に関するもの ()

3. 「こば打ち」と「こぐち打ち」では打つくぎの長さが違います。どうして違うのでしょうか。その理由を書きましょう。

()

《くぎ接合について》 2-2

年	組	番	氏名
---	---	---	----

4. 文章の()に当てはまる語句を下の語群より選び、下の答えの()内に書きましょう。

始めは、げんのうの()を持ち()で軽く打って、くぎを安定させます。
くぎが安定したら、()に持ち替え、そのまま で打ち込み終わる手前までくぎを打ち
ます。うち込み終わる手前で()に持ち替え、最後まで打ち込みます。

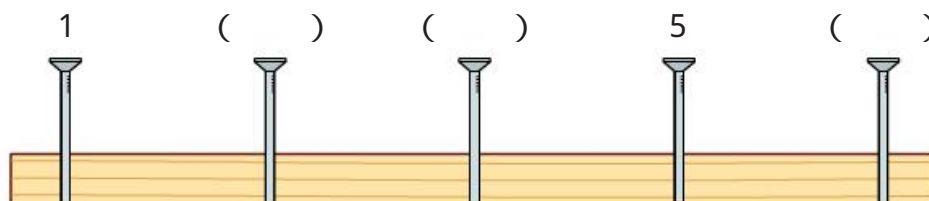
くぎ接合の際は、下穴に釘の先が少し突き出るぐらいに打ち込んでおくと、接合の位置を合わせ
やすく、またあらかじめ木工用接着剤をつけて釘を打つと接合部の強度が上がります。

くぎが曲がってしまったら、()を使ってくぎを抜きます。くぎを打ち終えたら、さ
しがねや直角定規を使って接合部が直角になっているか確認します。

語群(柄の中程・柄の端の方・柄のつけね・曲面側・くぎぬき・きり・穴あけ位置・平面側)

答え. () () () ()
()

5. 下図のようにくぎを5本打つときの順番を数字で()の空欄に書き込み、それに関する文章の
()にあてはまる語句を選びましょう。



1番目の釘は、(板の位置を微調整の後、最後まで打ち込み・途中まで打ち込み板の位置を微
調整し)、次に2番目の釘を (途中まで打ち込み板の位置を微調整する・最後まで打ち込み板
の位置を固定してから、1番目の釘を最後まで打ち込む)。